

ロイヤルエンフィールドジャパン
(総輸入発売元:ピーシーアイ株式会社)
2025 年 8 月 18 日
PCI-RE2025021

ロイヤルエンフィールドの新型車「New CLASSIC 650」 価格を発表、9 月 1 日より受注を開始

ロイヤルエンフィールドの DNA を倍増させた新型モデルを発表



- 新型「New CLASSIC 650」は、CLASSIC シリーズの歴史と伝統を継承し、熟成を重ねた排気量 648cc 並列 2 気筒エンジンを搭載。個性もクラフトマンシップもその魅力も一層の進化を遂げました。
- 新型「New CLASSIC 650」は、2025 年 9 月 1 日から受注を開始。メーカー希望小売価格は ¥949,300(税込)からとなります。

ミッドサイズ(250cc~750cc)モーターサイクル・セグメントのグローバルリーダーであるロイヤルエンフィールドは、2025 年 9 月 1 日より、日本全国のロイヤルエンフィールド正規販売店において新型「New CLASSIC 650 (ニュー クラシック・ロクゴーマル)」の受注を開始いたします。

ROYAL ENFIELD

これまで永きにわたって世界中のロイヤルエンフィールド・ファンに熱狂的に支えられてきた CLASSIC シリーズは、ロイヤルエンフィールドの DNA をもっとも純粋に表現するモデルであり、時代を超越したエレガンスを持ち続けながら現在に至るまで常に進化を重ねてきました。

新型「New CLASSIC 650」は、その美しく伝統的なディテールを継承。熟成を重ねた排気量 648cc の並列 2 気筒エンジンを組み合わせ、スタイルもパフォーマンスも向上させました。

スピードの象徴でもあった流線型のフォルムは今まで以上にスピード感を増し、より優雅に日本の道を駆け抜けることができるでしょう。



倍増した魅力

CLASSIC シリーズは、ロイヤルエンフィールドがリリースしてきた数多くのモデルの礎となってきました。そしてロイヤルエンフィールドの各モデルに散りばめたスタイルやディテール、そして豊かなインスピレーションも受け継いできました。その結果、歴代 CLASSIC モデルはもちろん、ロイヤルエンフィールドが造り上げるすべてのモデルは、ロイヤルエンフィールドらしさに満ち満ちているのです。新型「New CLASSIC 650」もその伝統を受け継ぎました。もっとも特徴的なのはリアサスペンションの取り付け部分が美しい曲線を描くループフレームです。歴代 CLASSIC モデルのほか、SUPER METEOR 650(スーパーメテオ・ロクゴーマル)や、SHOTGUN 650(ショットガン・ロクゴーマル)も、このループフレームを採用しています。

倍増した可能性

エンジンは、熟成を重ねた排気量 648cc の空冷 4 ストローク並列 2 気筒 SOHC4 バルブ。新型「New CLASSIC 650」のキャラクターに合わせ、セッティングを施しました。扱いやすく、優雅な走行性能を追求しつつ、いざアクセルを大きく開ければ大排気量 2 気筒エンジンらしい力強いパフォーマンスを発揮します。

倍増した個性

新型「New CLASSIC 650」は、手前に引いたハンドルグリップ、クラシカルなサドルシートのもダンデザイン版とも言えるフローティングシート、自然な位置にあるステップ。ライダーが接するそれらの 3 点によって形成する新型「New CLASSIC 650」のライディングポジションは、幅広いキャリアや体型のライダーにフィットします。そしてピュアなモーターサイクリングの醍醐味を、濃密に感じることができるでしょう。

ROYAL ENFIELD



新型「New CLASSIC 650」は、メインフレームを SUPER METEOR650 および SHOTGUN 650 と共有。パッセンジャーシートと、それを支えるサブフレームは取外しが可能で、ライディングスタイルに合わせて、スタイルや積載性を変更することができます。



CLASSIC シリーズにはティアドロップ型と呼ばれる流線型の燃料タンクが伝統的に採用されています。新型「New CLASSIC 650」にもオリジナルデザインされたティアドロップ型燃料タンクを採用しました。



カスケットと呼ぶひさしの付いたヘッドライトや、そのヘッドライトを収めるヘッドライトナセル上部の LED 化されたパイロットランプ「タイガーアイ」。



人間工学に基づいて設計したライディングポジションにくわえ、シートは形状・スポンジの密度・表皮素材まで吟味。正立式フロントフォークおよびリアサスペンションはともに SHOWA 製を採用したことで、あらゆる道路環境下でも安全安心のパフォーマンスを発揮し、シートと合わせて長距離走行時の快適性も高めました。



メーター類は、レトロな針式スピードメーターの中央に LCD ディスプレイを配置。ギアポジションや走行距離、燃料残量など、さまざまな情報を表示します。簡易ナビゲーションシステム／トリッパーも標準装備しました。

ロイヤルエンフィールドのチーフ・コマーシャル・オフィサー／Yadvinder Singh Guleria (ヤドビンダー・シン・グレリア) は、新型「New CLASSIC 650」の日本での発売開始について次のように述べています。

「ロイヤルエンフィールドが日本市場に導入した数多くのモデルのなかで、CLASSIC シリーズは多くのライダーたちの心の奥底にある、バイクの本質的な楽しさを堪能したいという要求を常に満たしてきました。そしてロイヤルエンフィールド・ブランドを日本に根付かせただけでなく、ピュア・モーターサイクルというロイヤルエンフィールドのブランド哲学を日本のライダー・コミュニティに刻み込みました。CLASSIC シリーズは私たちのブランドレガシーに根ざし、コミットし続けているのです。日本に導入する新型「New CLASSIC 650」は、その CLASSIC シリーズが貫く DNA を守り、体現しています。そして熟成を進めたロイヤルエンフィールドの 650 ツイン・プラットフォームを採用したことで、その個性とスタイル、そしてスピリットとエレガンスを倍増させました。この新型「New CLASSIC 650」は日本のお客様の心に深く響き、ブランド愛をさらに深めるものと確信しています」

クラシックなスタイルに、クラシックなカラー

カラーバリエーションは全 4 色。歴代モデル CLASSIC 500 で好評を博したカラーリングを復活させたほか、伝統的なカラーを現代解釈した新しいカラーリングにもチャレンジしました。

新型「New CLASSIC 650」は、2025 年 9 月 1 日より、全国のロイヤルエンフィールド正規販売店において受注を開始します。

バリエーション		メーカー希望小売価格
	New CLASSIC 650 Base Vallam Red (ヴァラム・レッド)	¥949,300 (税込)
	New CLASSIC 650 Base Bruntingthorpe Blue (ブランティングソープ・ブルー)	
	New CLASSIC 650 Mid Teal (ティール)	¥969,100 (税込)
	New CLASSIC 650 Top Black Chrome (ブラック・クローム)	¥998,800 (税込)

※日本仕様はタンデムシートになります。

<ロイヤルエンフィールド社について>

1901年の創業以来、ロイヤルエンフィールドは美しいオートバイを作り続けてきた二輪車ブランドです。そのルーツは英国にあり、1955年にマドラス(現チェンナイ)に製造工場を設立。以来ロイヤルエンフィールドは、インドのミッドサイズ・モーターサイクルセグメントの成長を牽引してきました。ロイヤルエンフィールドのモーターサイクルは、美しく、シンプルで親しみやすく、ライディングする楽しさに溢れた乗り物である。それは我々ロイヤルエンフィールドが、自らを『Pure Motorcycling／ピュア・モーターサイクリング』と呼ぶ由縁です。

ロイヤルエンフィールドのプレミアムラインナップには、クルーザーの「METEOR 350(メテオ・サンゴーマル)」、650パラレルツインモーターサイクルの「SUPER METEOR 650(スーパー・メテオ・ロクゴーマル)」、「INT650(アイエヌティ・ロクゴーマル)」、「CONTINENTAL GT650(コンチネンタル・ジーティー・ロクゴーマル)」、アドベンチャー・モーターサイクルでは「HIMALAYAN 450(ヒマラヤ・ヨンゴーマル)」、アイコンックな「BULLET 350(ブリット・サンゴーマル)」、「CLASSIC 350(クラシック・サンゴーマル)」があります。また我々は2024年に、新しいシティ&電動モーターサイクルブランド『FLYING FLEA(フライング・フリー)』を発表しました。それはモダンなデザインと先進技術を融合させた、都市型モビリティカテゴリーにおける我々の新たなチャレンジでもあります。

また我々ロイヤルエンフィールドは、世界各地でモーターサイクルイベントを企画しています。とくに、毎年11月にインド西海岸のリゾート地ゴアの美しいビーチに、世界中からロイヤルエンフィールド・ライダーが集まるイベント「Motoverse(モトバース)」や、ヒマラヤ山脈の高地を走る「Himalayan Odyssey(ヒマラヤン・オデッセイ)」が有名です。また世界中の人々がロイヤルエンフィールドを走らせる世界同日開催のライディングイベント「One Ride(ワンライド)」も実施しています。

インドのトラック大手 Eicher Motors Limited(アイシャーモーターズ・リミテッド)の一部門であるロイヤルエンフィールドは、インドの主要都市に2000以上の店舗を構え、世界60カ国以上に850近い店舗を展開しています。また、ロイヤルエンフィールドは、英国のブランディングソーブとインドのチェンナイに2つのテクニカルセンターを有し、インドの都市チェンナイ近郊のオラガダムとヴァラムヴァダガルに2つの最新鋭の生産施設を運用しているほか、バングラデシュ、ネパール、ブラジル、タイ、アルゼンチン、コロンビアの6ヶ所に近代的なCKD(コンプリート・ノック・ダウン)組立工場も有しています。

ロイヤルエンフィールドのブランドや製品に関する詳細は下記公式ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.royalenfield.co.jp>

全国のROYAL ENFIELD 正規販売店は下記よりご確認いただけます。

<https://www.royalenfield.co.jp/dealers/>

本件に関するお問い合わせ先：ロイヤルエンフィールドジャパン(総輸入発売元:ピーシーアイ株式会社)

<https://www.royalenfield.co.jp>